

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日: 2026年 2月 25日

事業所名: コミュニティーキッズのの

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	5			個別課題の時間の時にだけ机を出し、他の時間は十分に動けるようにしている。	15					
	2 職員の適切な配置	4	1		児童の様子に応じてマンツーマン対応がかなうように配置している。	14	1				職員が不足しないよう対応していく。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がい者の特性に応じた設備整備	3	2		スケジュールカードやタイムタイマーを使用し見て分かるようにしている。児童に応じて導線を工夫する。	15					引き続き、個々に合わせた提示方法を都度アセスメントしていく。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	5			定期的に換気を行いきれいな空気の元過ごせるようにしている。	14	1				換気・消毒を行い感染症予防に努める。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	4	1		職員全員で話し合う時間の確保に努める。						職員全員が揃える時間の確保に努める。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	1	2	2	第三者による外部評価は行っていません。						今後、必要に応じて検討していく。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	5			外部研修やオンライン研修を実施している。また報告書を通して内容の周知を行っている。						偏りなく受講できるように計画を立てる。
適切な支援の提供	1 適切に支援プログラムが作成、公表されているか	5			HPにて公表している。	15					
	2 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	5			保護者の方から聞き取りを行いニーズに合わせた支援計画の作成を心掛けている。	15					職員全体で計画が立てられるようにしていきます。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	5			項目ごとに支援内容の記載を行っている。	15					分かりやすく記載できるよう心掛ける。
	4 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	5			利用児童に合わせて計画を作成している。						利用児童の状態に合わせて計画の見直しを行う。
適切な支援の提供(続き)	5 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	5			職員間で支援計画の内容を把握し、日々児童の様子を見ながら支援を実施している。	15					日々実施した支援内容を分かりやすく保護者へ伝えていく。
	6 チーム全体での活動プログラムの立案	4	1		職員全員で話し合いの場が持てるよう時間の確保に努める。						職員全員が揃える時間の確保に努める。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	4	1		週替わりで活動を立案・計画し、児童の状況に寄り添いながら実施している。	15					引き続き固定化しないよう、職員一人一人がプログラムの提案をしていく。
	8 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	1	4		平日の短時間サービス提供のため、休日の支援は行っていない。						出来る限りニーズに応えられるよう支援を行う。
	9 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	1	3	1	送迎時間の関係や非常勤職員の勤務等でしっかりと話し合いの場が作れていないが、記録を残し全員に周知できるようにしている。						話し合った内容を全職員に素早く周知できるよう努める。
	10 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	1	3	1	同上						短時間でも振り返りの時間を作る。
	11 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	5			業務日誌に他職員が見ても伝わるように記載するよう心掛けている。						
	12 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	5			定期的にモニタリングを行い計画の見直しを行っている。						

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	5			積極的に担当者会議の開催を提案したり参加している。						
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施				対象児童無し						
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備				対象児童無し						
	4 児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	5			在籍している園との情報共有を行っている。						
	5 他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	5			支援内容等の情報提供を行っている。						
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	5			積極的に参加している。						
	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供	2	1	2	短時間のサービス提供のため交流は行っていない。	14			1		
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営		1	4	短時間のサービス提供のため交流は行っていない。						
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	5			契約時に説明を行っている。	15				説明がきちんとされていて安心して任せられます。	引き続き丁寧な説明を心掛ける。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	5			計画を作成するごとに説明を行っている。	15				しっかりと説明があり、分からないことを聞くと分かりやすく説明してくれて助かっています。	引き続き丁寧な説明を心掛ける。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	2	2	1	ペアレント・トレーニングは行っていないが、相談があったときに対応方法等をお伝えしている。	12	1		2		保護者のニーズに応じて対応していく。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	4	1		モニタリング時に成長した点とともに課題点もお伝えし共通理解を図っている。	14	1				日々の連絡帳を通してモニタリング時以外にも共通理解が出来るように努める。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	5			相談希望があれば随時ご希望の方法で面談を行っている。	15				助けられています。	相談しやすい雰囲気・環境づくりに努める。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援		1	4	現在、父母の会等は行っていない。	7	1	2	5	保護者同士での交流の場があれば良いと思います。	今後検討していく。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	4	1		苦情があった際に迅速に対応が出来るよう、対応方法など職員間で確認を行っている。	9	1		5	苦情がないので分かりません。	苦情があった際に迅速かつ真摯に対応できるよう、対応方法を職員間で把握しておく。
	8 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	3	2		個々に合わせた伝え方に配慮している。	15					
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	2	2	1	SNSでの発信をしているが、更新頻度が低いことが課題である。	12	1		2		SNSの更新頻度を上げる。また更新した時にはLINEでお知らせする。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	5			個人情報取扱規程に基づき対応している。	15					
1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	5			契約時にお伝えしているが、定期的に周知する必要があると感じている。	15					各マニュアルの見直しを行いその都度周知していく。	

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	
非常時等の 対応	2	5			定期的に訓練を行っているが、保護者の方に十分に周知できていない。	12			3	訓練を行ったときには連絡帳だけでなくSNSやLINE等でも知らせていく。
	3	5			アセスメントシートを利用して確認している。					アセスメントシートと併せて対面でも確認します。
	4	1	2	2	食事提供は行っていない。					
	5	5			定期的に安全点検を行っている。					
	6	4	1		家族等への周知徹底を行っている。					安全計画を見直すごとに保護者の方へ周知徹底する。
	7	5			ヒヤリハットを記録し、職員間で話し合いを行っている。					引き続き事例検討する時間をもち、より良いサービス提供が行えるようにしていく。
	8	5			年2回以上の虐待防止研修を受講している。					ミーティング等で事例検討を行い虐待防止に努める。
	9	3	2		現在、対象児童無し。					対象児童を受け入れる際には、職員間でよく話し合い計画書へ記載し保護者へ説明をする。